

ユニチカ
ホノガード[®]

ポリエステル・複合長繊維不織布(エルベス)

飛散農薬を、 90%以上遮蔽。

「ホノガード」で
ドリフト対策。
90%以上の
遮蔽効果を確認。

「ホノガード」は高い遮蔽性能を備えた機能性シートで、飛散農薬に効果を発揮します。

その性能は試験でも証明され、何も被せない所に対し90%以上の遮蔽効果を確認。

農薬残留については、影響が出にくいという結果が出ています。

撥水性も高く、突然の雨にも対応。軽量なので設置や除去作業も負担になりません。

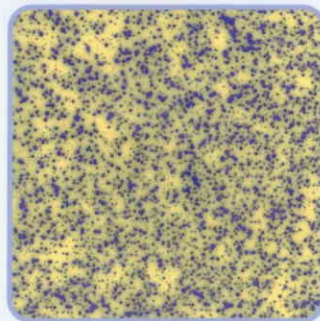
大切な作物の保護に、ぜひご活用ください。農薬散布時や、収穫の数日前からのご使用が効果的です。

遮蔽性能についての試験結果

トンネル状にホノガードを被せ、トンネル内の地上付近、裏面に接触する位置に感水紙を設置。上方から散布用キットを用いて清水を散布し、ホノガード区と無被覆区の結果を測定。



ホノガード区



無被覆区

感水紙への付着面積は無被覆(100%)に対し2.2%(97.8%遮蔽)であった。

作物残留影響防止効果についての試験結果

収穫期のこまつなにホノガードをトンネル被覆、べたがけ被覆し、上方から散布用キットを用いて低濃度に調整した農薬を散布、残留影響を測定。また降雨の場合も想定し、測定。

【こまつなに対する効果】 残留濃度：mg/kg(ppm)

ドリフトレベル		I	II
農薬有効成分量(mg/m ²)		0.01*	0.27**
ホノガード	トンネル被覆	<0.01	<0.01
	べたがけ被覆	<0.01	0.01
無被覆		0.02	0.27

【降雨を受けた場合の影響】 残留濃度：mg/kg(ppm)

農薬有効成分量(mg/m ²)		0.01*	0.27**
ホノガード	トンネル被覆	<0.01	<0.01

*供試農薬：*イミダクロプリド **エトフェンブロックス

有効成分量は散布液実測濃度より算出

*ドリフトレベル I 極めて少ないドリフト II やや多めのドリフト

ドリフト量が特に多くなる限り、作物残留影響を防止できると考えられる。

(試験場所：社団法人 日本植物防疫協会研究所ビニルハウス)

※試験の数値は実測値であり、保証値ではありません。

ホノガード	
規格	
幅(cm)	155, 310
長さ(m)	110

使用上のご注意

- ホノガードは、農薬のドリフト影響を完全に防止できるものではありません。
- ドリフト低減対策および農薬使用基準を遵守の上、ご利用ください。
- 長期間にわたる被覆は、作物に悪影響を及ぼす場合があります。
- 商品の特性上、使用状況により破れることがありますので、ご注意ください。
- ご使用後は、よく乾かし、日のあたらない場所で保管してください。



試験状況：散布処理

〈お問い合わせは〉

UNITIKA ユニチカ株式会社

ユニチカ株式会社 スパンボンド農業資材営業グループ

[東京本社] 〒103-8321 東京都中央区日本橋室町3-4-4 JPビル
TEL (03)3246-7564 FAX (03)3246-7559

ホームページ <http://www.unitika.co.jp/spunbond/>

取扱い代理店